



校内研修シリーズ 「学校における医療的ケアの充実について」



「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（以下「医ケア児支援法」）」が令和3年9月に施行されました。国・地方公共団体・学校設置者の医療的ケア児への支援が、努力義務から責務となりました。

また、文部科学省では、同年6月に「小学校等における医療的ケア実施支援資料～医療的ケア児を安心・安全に受け入れるために～（以下「医療的ケア実施支援資料」）」を作成しました。小学校等における医療的ケアに関する基本的な考え方を改めて整理し、医療的ケア児に必要な医療的ケアの内容を把握するとともに、小学校等や教育委員会における具体的な体制整備等が示されています。

これらのことを踏まえ、文部科学省と教職員支援機構が連携をし、小学校等の教職員を主な対象として、学校における医療的ケアの実施に関する基本的な考え方等をまとめた研修動画を公表しました。

本動画では、各学校で実施される医療的ケアが安心・安全に実施できるように医療的ケアに関する定義や考え方、医療的ケアの内容や現状を踏まえ、文部科学省の取組等について解説しています。校内研修等で御活用ください。



「学校における医療的ケアの充実について」

文部科学省 初等中等教育局視学官(併) 特別支援教育課特別支援教育調査官
菅野 和彦 氏

研修動画URL → <https://www.youtube.com/watch?v=JIEAsznmNBY>



「学校における医療的ケアの充実について」
研修動画はこちら



「医ケア児支援法」
はこちら



「医療的ケア実施支援資料」
はこちら



学校訪問で見つけた

キラッ ✨ と光る手立ての工夫 〈その②〉

〈小学校 知的学級 生活単元学習 「買い物名人になろう」〉

児童の自立や社会参加を見据えた学習として「買い物」を題材に、国語科や算数科、社会科等の内容を合わせた学習内容を設定していました。単元は、献立を考える、予算内で買い物をする、そのための計算をする、実際に買い物をする…といった流れで展開し、考えた献立にはどのような材料が必要で、決められた予算内で何を購入することができるのか、児童が主体的に考える工夫がされていました。

- ◎様々な献立カードを用意し、予算内で複数選べる値段設定にした。
- ◎児童の実態や学習課題に応じて、個別のワークシートを作成した。
- ◎献立カードやお金模型を種類別に仕分けられ、机上が構造化されていた。
- ◎作った献立や購入金額を報告し、実際にお財布から金銭を出すことで、金銭管理についても学習していた。



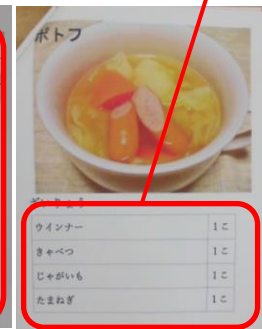
↑ 机上の構造化
↓ 献立カード

学習の結果も分かりやすく、児童も「次はどんな献立にしようかな。」と期待感をもちながら、意欲的に取り組む姿が見られました。

ひっ算の計算ワークシートの工夫 ⇒

ポトフ	
しょうこん	
りんご	97円
キャベツ	86
じゃがいも	68円
たまねぎ	76円
合計	327円

97		
+ 86		
183		
+ 68		
251		
+ 76		
327		



献立カードに示された材料を品物カードから選び、それぞれの値段を計算ワークシートに記入する。

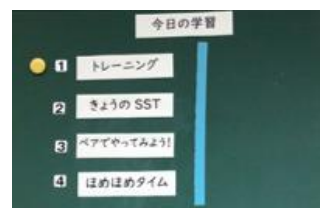
〈小学校 L.A.通級指導教室 自立活動 「ソーシャルスキルトレーニング」〉

相手の気持ちを考えて言葉をかけたり、周囲の状況に合わせて行動したりすることができるよう、ソーシャルスキルトレーニングに取り組んでいました。本時では、実生活に生かすことができるように、経験したことのある場面をとりあげ、ペア学習をとおして自分や友達の良さを見つけ、伝え合うことができるような学習を設定していました。この授業では次のような手立ての工夫がありました。

- ◎活動の見通しをもち、集中して取り組むことができるよう、授業のはじめに学習の流れを示し、活動の終了時刻や残り時間が分かるような視覚提示を工夫していた。
- ◎児童が実際に体験した場面をとりあげることで、自分や他者の気持ちを想起しやすくした。
- ◎実際に話す言葉と心の中の言葉の違いが理解できるよう、吹き出しの形を変えて提示した。
- ◎適切な言葉掛けを学んだ後、役割演技をして練習する時間を設けた。それをタブレットに録音することで振り返りや自己評価の助けとしていた。

通級指導教室で学習したことを、生活の中でも生かすことができるよう、職員間の連携と情報共有にも努め、児童の良い言動を見逃さず、すぐに称賛できるような計画がされていました。

吹き出しの形の違い
話す言葉 と 心の言葉



↑ 学習の流れ